



陳情 4 第32号

5類移行を見据えた

市立学校における新型コロナ対策(空気環境改善)についての陳情



2023年2月9日

藤沢市 議会議長 佐賀和樹 様

〈陳情項目〉

高機能換気設備(全熱交換機)、中性能フィルター、HEPA式空気清浄機など換気・空気清浄設備およびCO2モニターを整備することで、学校の空気環境を改善する。

〈陳情 理由〉

- エアロゾル感染の広がりやすさが指摘されているオミクロン株以降、子どもも感染しやすくなり、児童・生徒の欠席者が増加するとともに、子どもの重症・死亡例が報告されるようになりました。
- 児童・生徒が家に持ち帰り、家庭内感染が拡大することも指摘されています。重症・死亡例に限らず、^{小児}多系統炎症性症候群(MIS-C)や罹患後症状(長期後遺症)などの軽視できない小中高校生の症例も国内で増えております。
- 今後、新型コロナの5類移行や屋内におけるマスク着用指針の変更など、学校に限らず感染対策の緩和が見込まれる一方、オミクロン株亜系統であるXBB.1.5(クラーケン)などの変異株による影響も懸念されることから、学校における対策の進化が必要です。
- 政府・文科省としても学校における換気・空気清浄設備の整備を推奨していることから、科学的な知見と先進的な事例を踏まえ、より安全・安心な学校環境の実現に向けて、学校におけるエアロゾル感染対策の改善を要望いたします。

藤沢市藤沢55-1-17F

太田 敬子